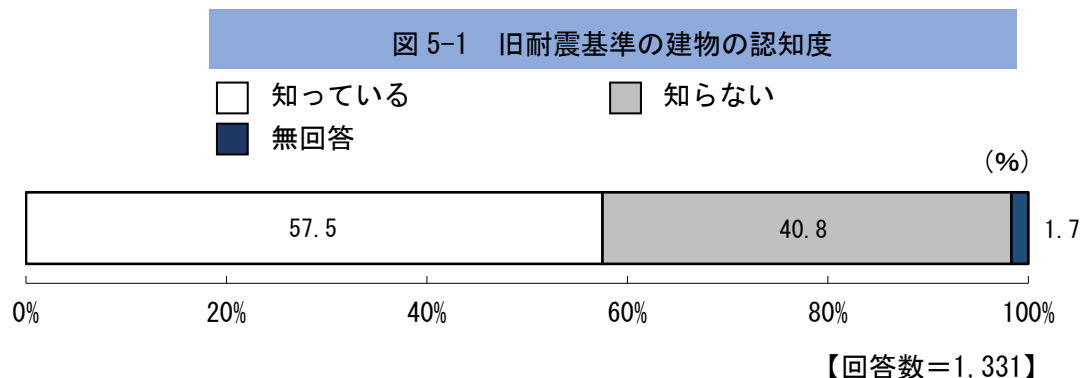
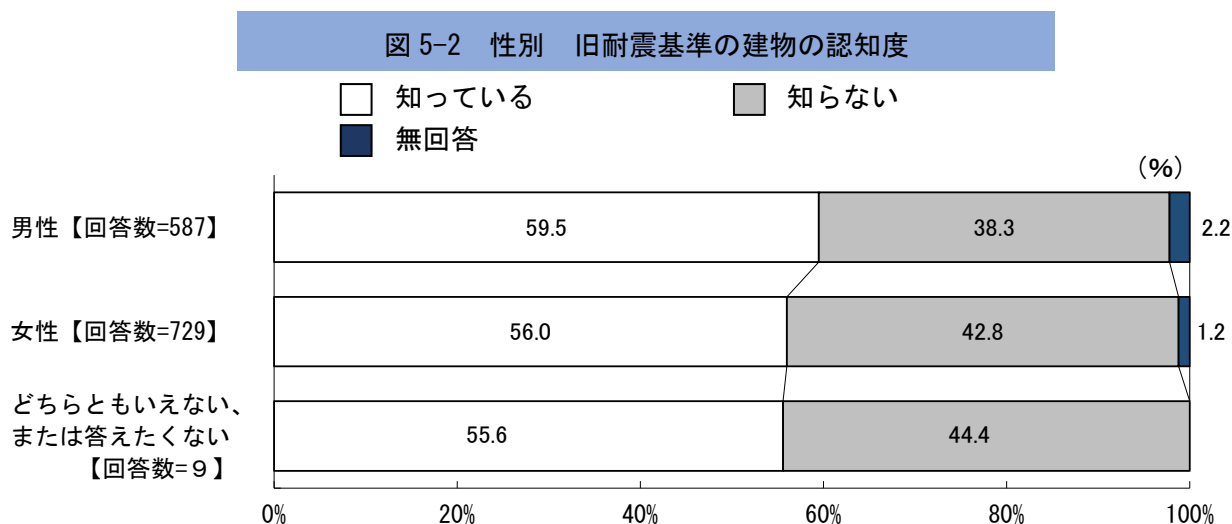


## 5. 東大阪市の木造住宅の耐震改修などについて

問 22. 昭和 56 年 5 月以前に建てられた木造住宅は地震が発生した際の危険性が高い、いわゆる旧耐震基準の建物であるということをご存じですか。  
(○は 1 つだけ可)

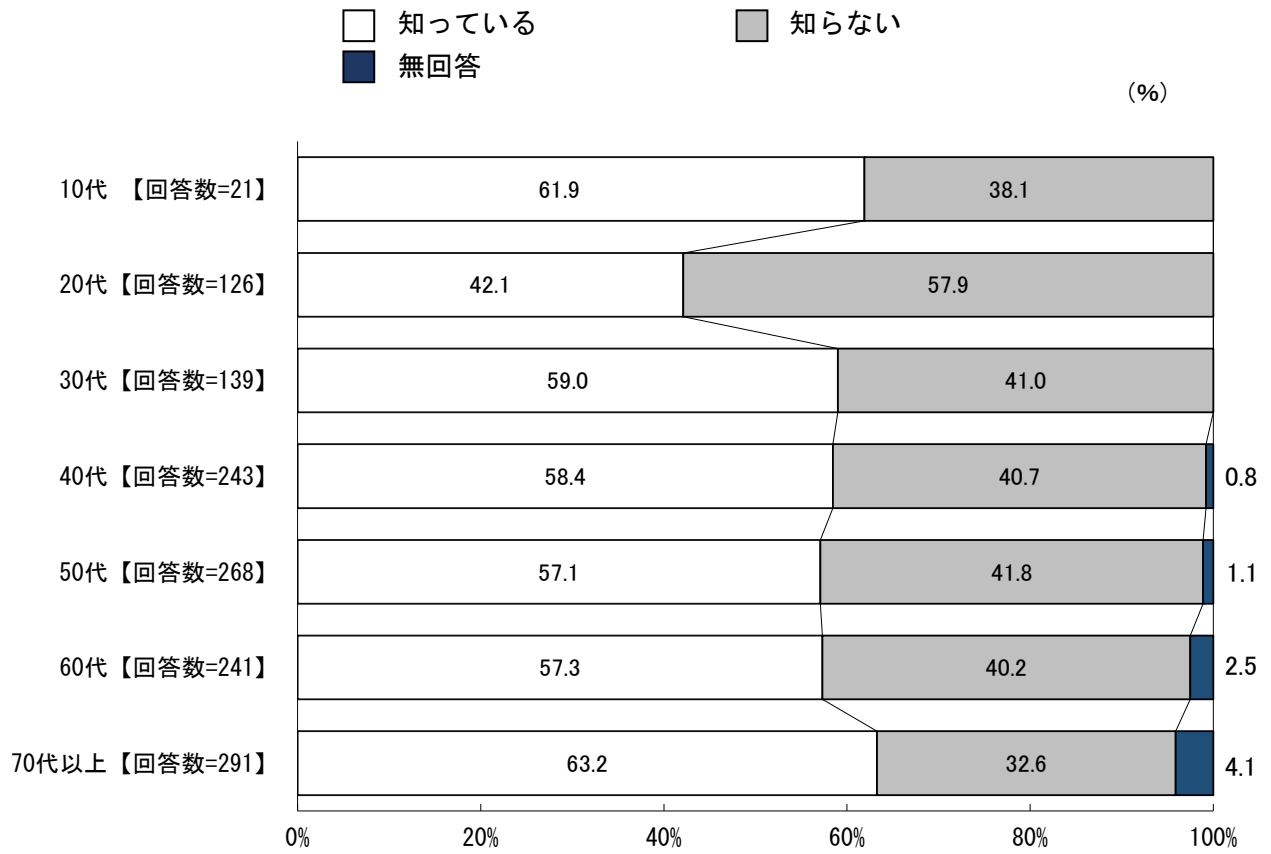


旧耐震基準の建物の認知度をたずねた。「知っている」が 57.5%、「知らない」が 40.8%となっている。(図 5-1)



性別にみると、「知っている」は『男性』が『女性』より 3.5 ポイント上回っている。また、「知らない」は『女性』が『男性』より 4.5 ポイント上回っている。(図 5-2)

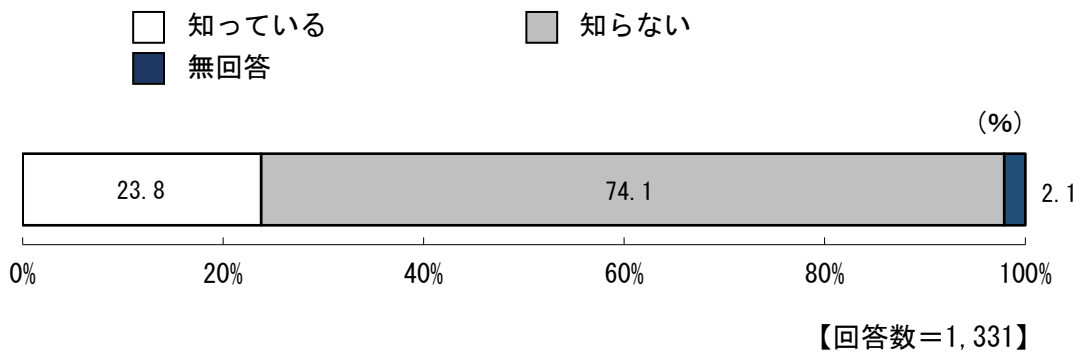
図 5-3 年代別 旧耐震基準の建物の認知度



年代別にみると、「知らない」は『20代』が57.9%と他の年代と比べて高くなっている。(図 5-3)

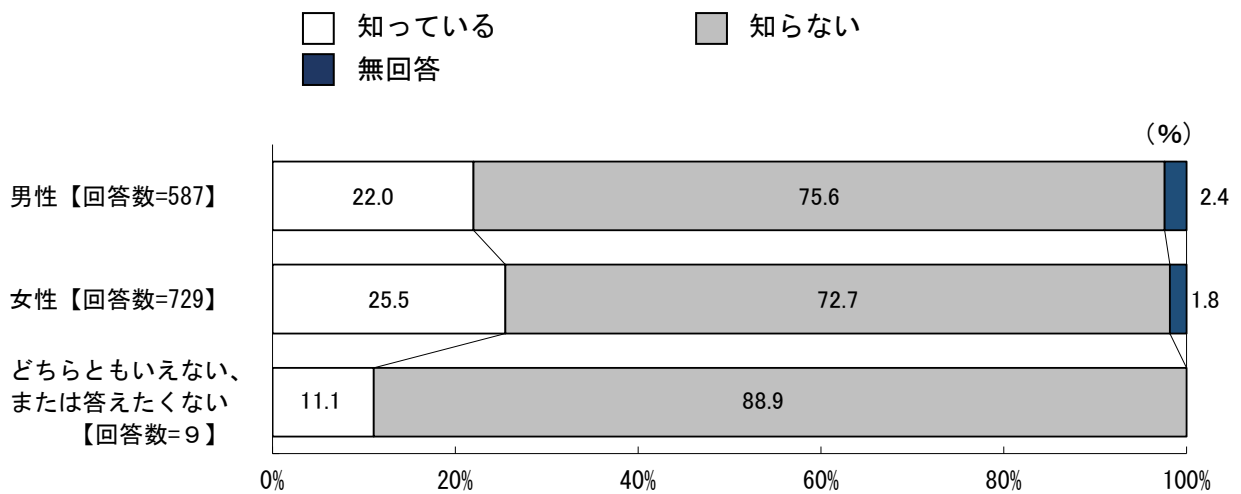
問 23. 東大阪市では、昭和 56 年 5 月以前に建てられた木造住宅に対して、耐震改修などに伴う補助金制度が設けられていることをご存じですか。  
(○は1つだけ可)

図 5-4 耐震改修などに伴う補助金制度の認知度



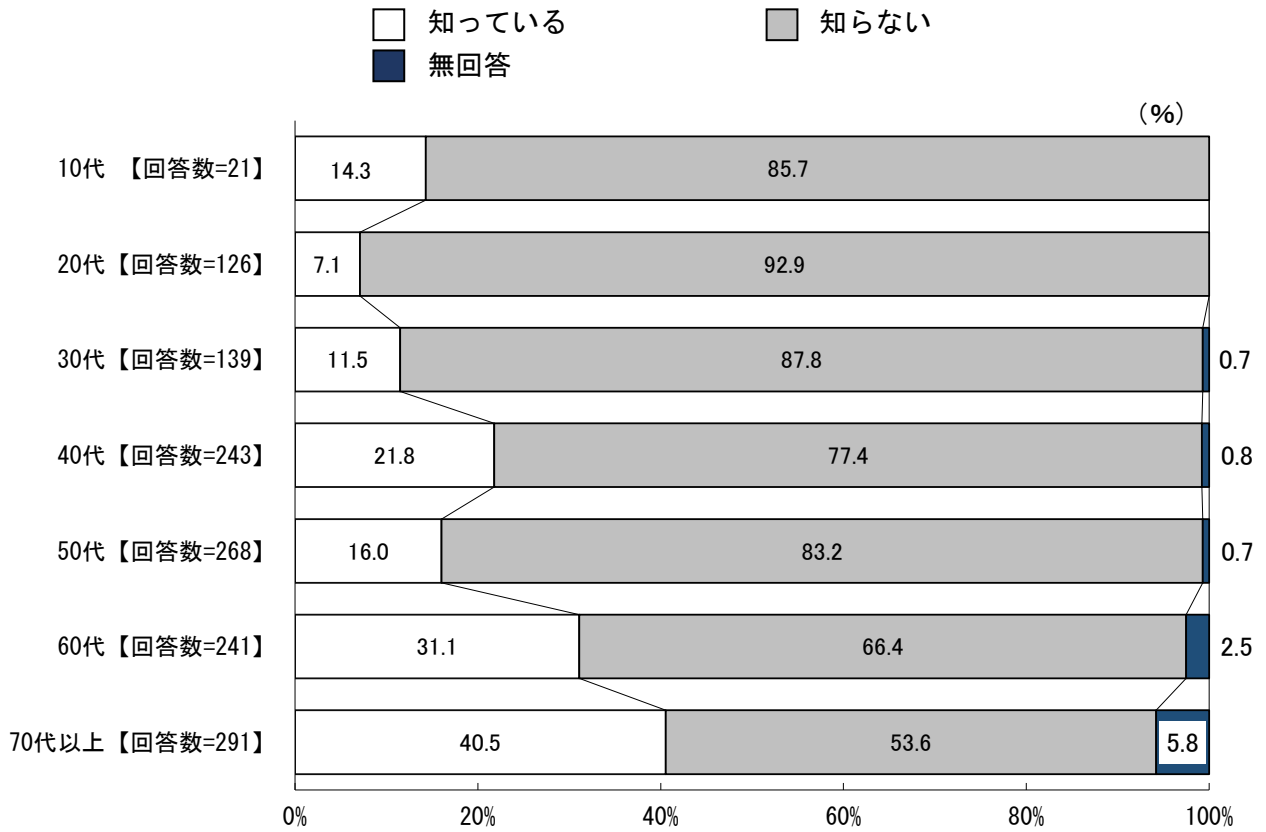
耐震改修などに伴う補助金制度の認知度をたずねた。「知らない」が 74.1%、「知っている」が 23.8%となっている。(図 5-4)

図 5-5 性別 耐震改修などに伴う補助金制度の認知度



性別にみると、「知っている」は、『女性』が『男性』より 3.5 ポイント上回っている。また、「知らない」は『男性』が『女性』より 2.9 ポイント上回っている。(図 5-5)

図 5-6 年代別 耐震改修などに伴う補助金制度の認知度

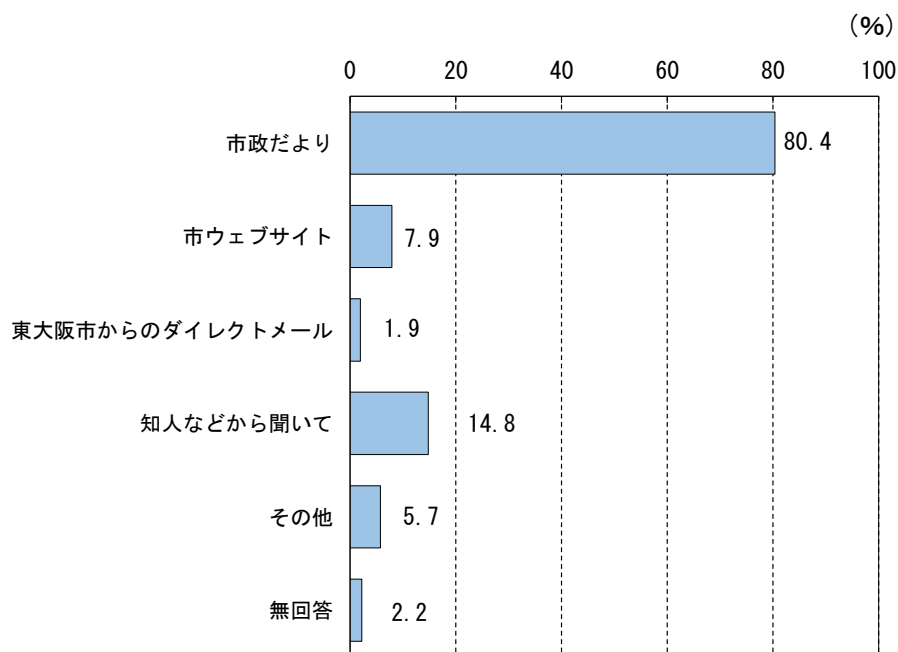


年代別にみると、「知っている」は『70代以上』で40.5%と最も高くなっている。また、「知らない」は『20代』で92.9%と9割を超えている。(図 5-6)

※問 23 で 「1. 知っている」 とお答えされた方におたずねします。

問 23-1 耐震改修などに伴う補助金制度に関する情報をどのようにして知りましたか。(〇はいくつでも可)

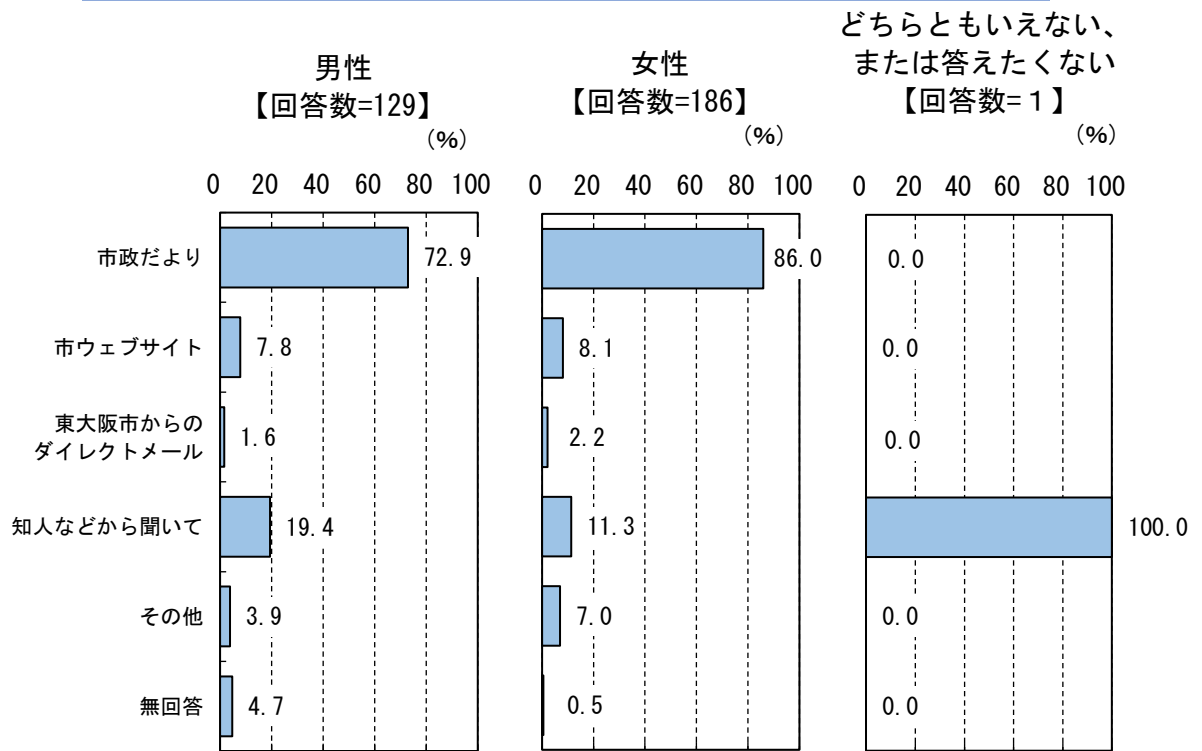
図 5-7 耐震改修などに伴う補助金制度の周知経路



【回答数=317】

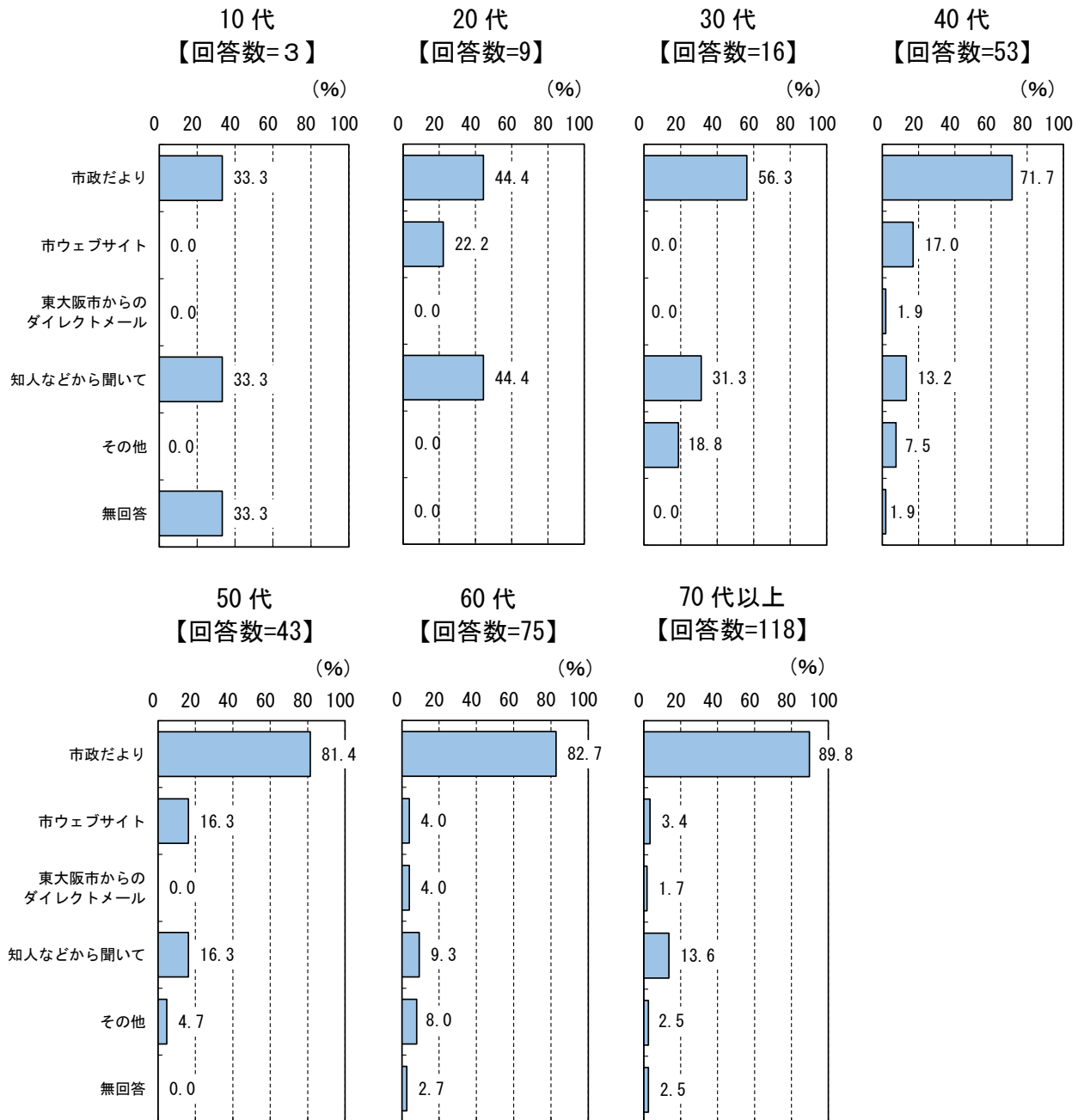
問 23 で「知っている」人を対象に、耐震改修などに伴う補助金制度の周知経路をたずねた。「市政だより」が 80.4%と最も高く、次いで「知人などから聞いて」が 14.8%、「市ウェブサイト」が 7.9%の順となっている。(図 5-7)

図 5-8 性別 耐震改修などに伴う補助金制度の周知経路



性別にみると、「知人などから聞いて」は『男性』が『女性』より 8.1 ポイント上回っている。また、「市政だより」は、『女性』が 86.0% と 8 割を超えている。(図 5-8)

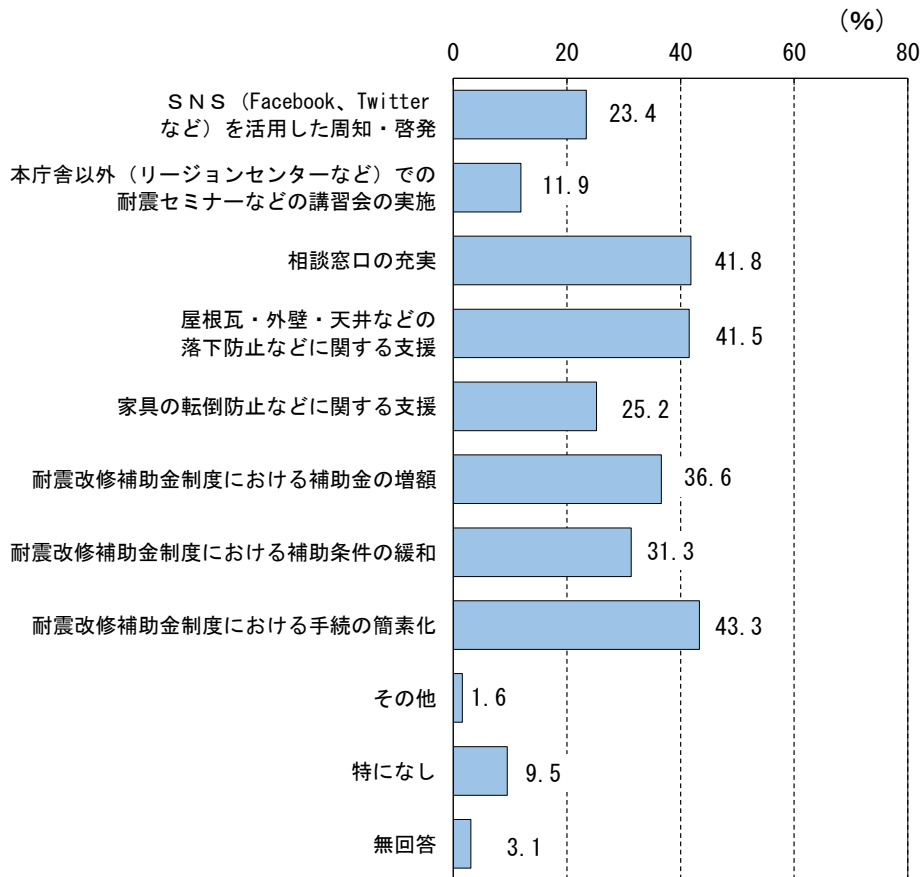
図 5-9 年代別 耐震改修などに伴う補助金制度の周知経路



年代別にみると、年代が上がるにつれて「市政だより」の割合が高くなっている。また、「知人などから聞いて」は『20代』が44.4%と他の年代に比べて高くなっている。(図 5-9)

問 24. 東大阪市の耐震に関する施策について、今後どのような取組が必要と思いますか。(〇はいくつでも可)

図 5-10 東大阪市の耐震に関する施策として必要なこと

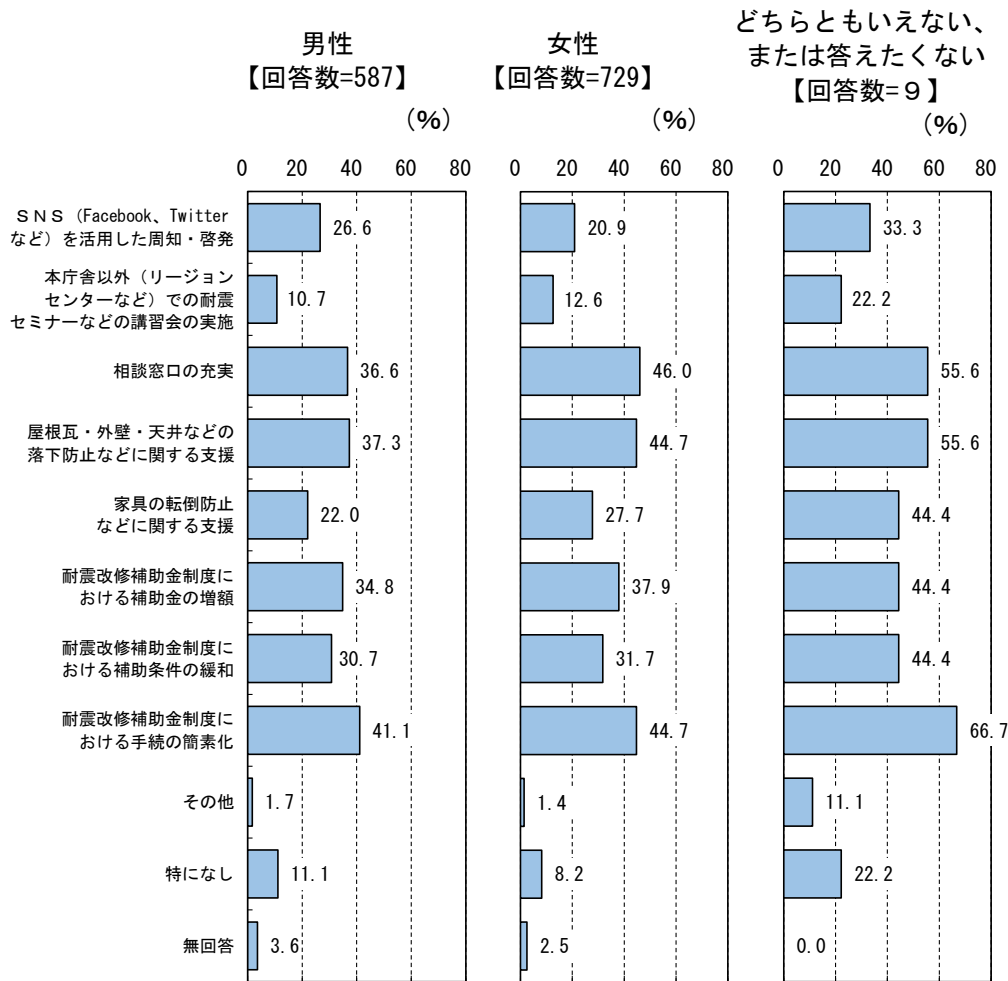


【回答数=1,331】

東大阪市の耐震に関する施策として必要なことをたずねた。「耐震改修補助金制度における手続の簡素化」が 43.3%と最も高く、次いで「相談窓口の充実」が 41.8%、「屋根瓦・外壁・天井などの落下防止などに関する支援」が 41.5%の順となっている。(図 5-10)

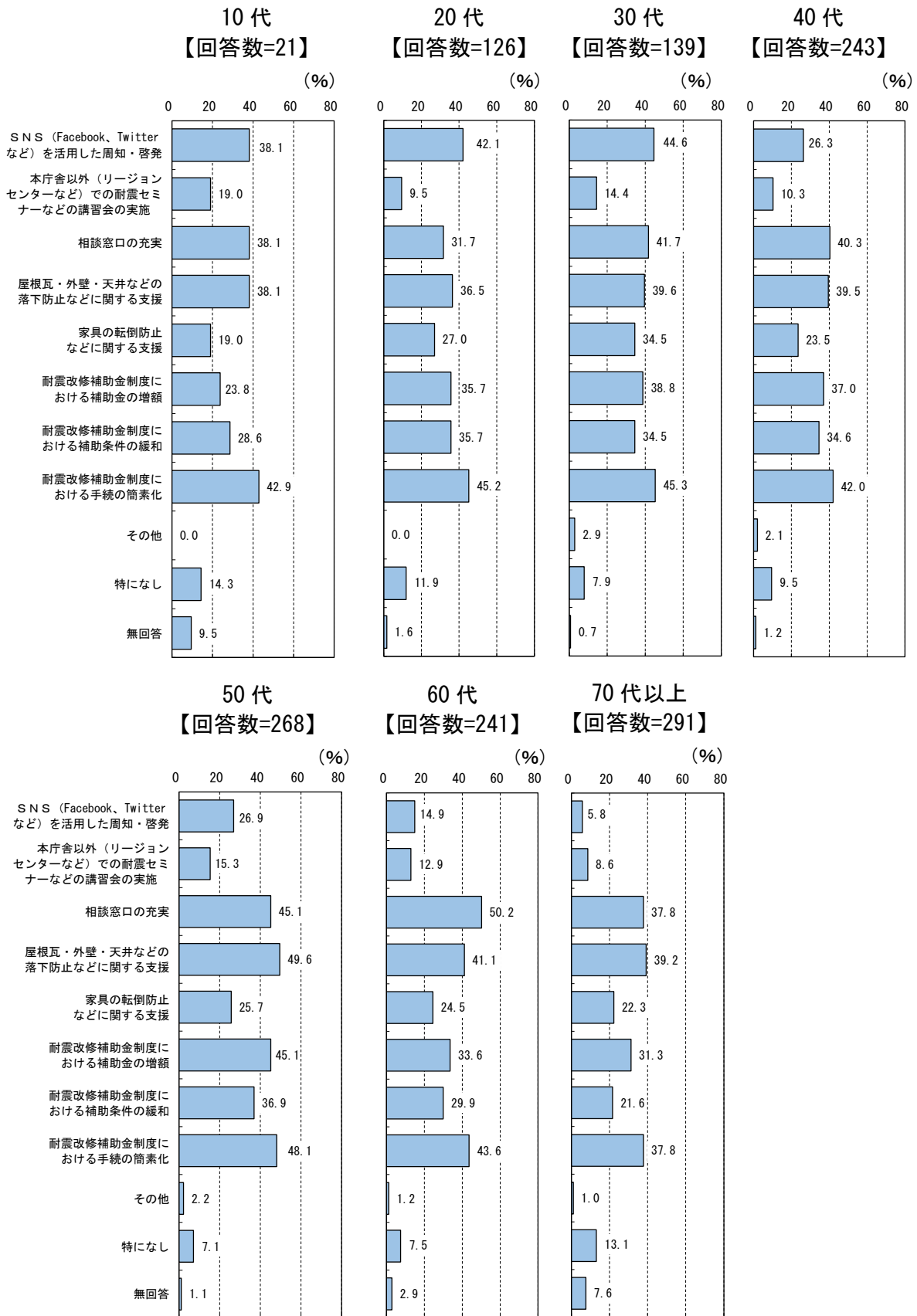


図 5-11 性別 東大阪市の耐震に関する施策として必要なこと



性別にみると、「SNS (Facebook、Twitter など) を活用した周知・啓発」は『男性』が『女性』より 5.7 ポイント上回っている。また、「相談窓口の充実」は『女性』が『男性』より 9.4 ポイント上回っている。(図 5-11)

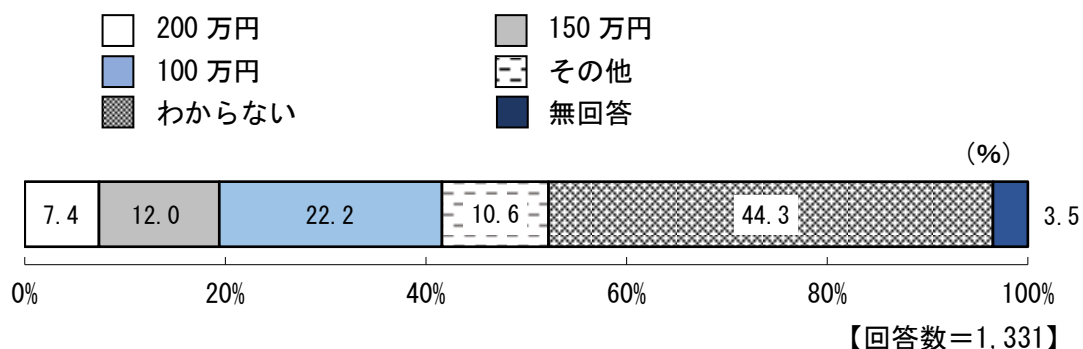
図 5-12 年代別 東大阪市の耐震に関する施策として必要なこと



年代別にみると、「相談窓口の充実」は『60代』で50.2%と約5割となっている。「耐震改修補助金制度における手続の簡素化」は、『70代以上』以外の年代において4割以上となっている。(図 5-12)

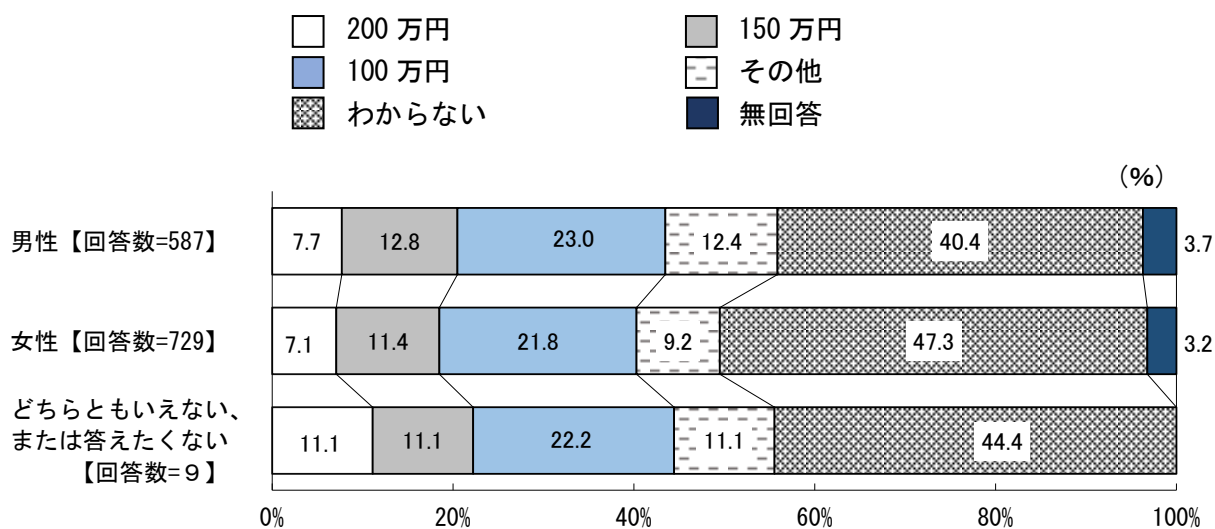
問 25. 耐震改修に伴う工事費用のうち自己負担がどの程度であれば工事をやりたい  
 と思いますか。(例：工事費用の総額が300万円だった場合)  
 (○は1つだけ可)

図 5-13 希望する耐震改修に伴う工事費用の自己負担額



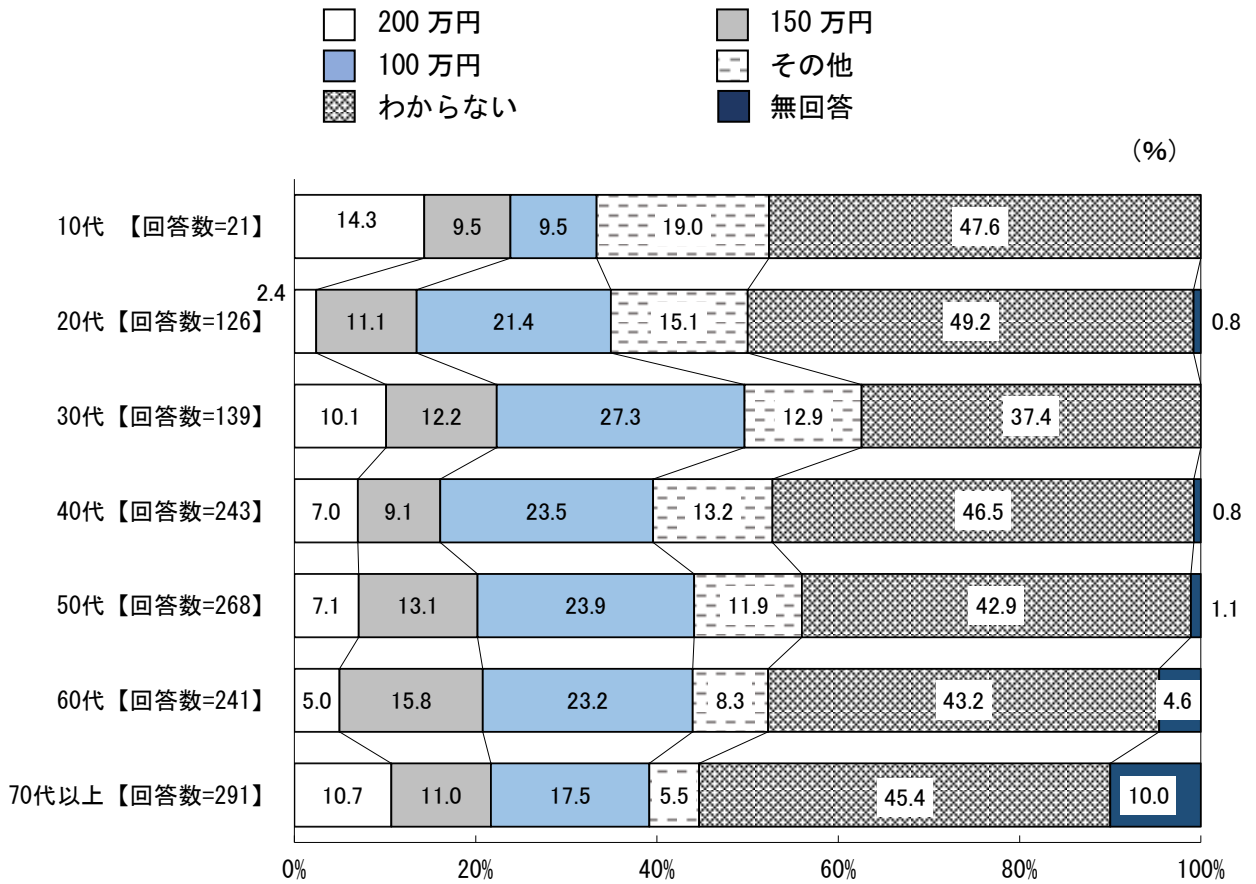
希望する耐震改修に伴う工事費用の自己負担額をたずねた。「わからない」が 44.3%と最も高く、次いで「100万円」が 22.2%、「150万円」が 12.0%の順となっている。  
 (図 5-13)

図 5-14 性別 希望する耐震改修に伴う工事費用の自己負担額



性別にみると、「150万円」は『男性』が『女性』より 1.4 ポイント高くなっている。  
 (図 5-14)

図 5-15 年代別 希望する耐震改修に伴う工事費用の自己負担額



年代別にみると、「100万円」は『20代』から『60代』で2割以上となっている。また、「150万円」は『60代』で15.8%と他の年代と比べて高くなっている。(図 5-15)